

第2回新座市地域公共交通会議 次 第

日 時 令和6年8月1日（木）
午前10時
場 所 新座市役所本庁舎5階
全員協議会室

1 開 会

2 挨拶 新座市地域公共交通会議会長 板谷 和也

3 議 題 新座市地域公共交通計画の作成について

(1) 計画構成と検討スケジュールについて

(2) アンケート調査について

4 報告事項

(1) 新座市コミュニティバス「にいいバス」について

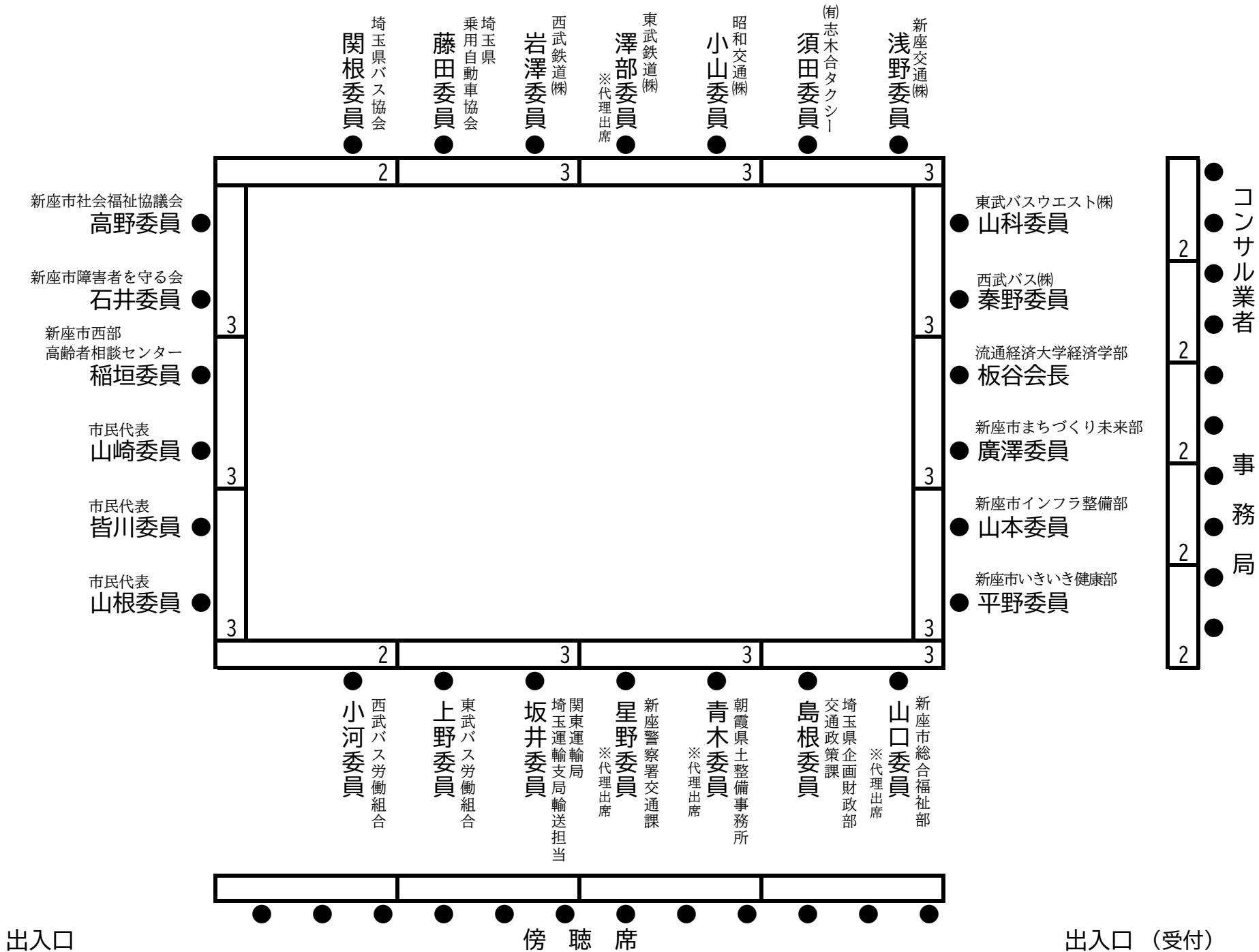
(2) その他

5 閉 会

新座市地域公共交通会議委員名簿

(令和6年8月1日時点)

	区 分	機 関・団 体 部 署・役 職	氏 名
1	公共交通事業者等の代表	西武バス株式会社 計画部計画課長	秦 野 凌
2		東武バスウエスト株式会社 運輸統括部業務課長	山 科 和 仁
3		新座交通株式会社 代表取締役	浅野 ルリ子
4		有限会社志木合同タクシー 代表取締役	須 田 超 一
5		三和富士交通株式会社 取締役(埼玉営業所所長)	内田 雄一郎
6		昭和交通株式会社 総務課長	小 山 浩
7		東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 企画総務部 経営戦略ユニット 開発調整チーム マネージャー	倉 科 大 地
8		東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 事業戦略部 課長	小 瀧 正 和
9		西武鉄道株式会社 鉄道本部 計画管理部 駅まち創造課長	岩 澤 貴 顕
10	公共交通事業者等の組織する団体の代表	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長	藤 田 貢
11		一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	関 根 肇
12	市民又は利用者	社会福祉法人新座市社会福祉協議会 会長	高 野 光 雄
13		社会福祉法人新座市障害者を守る会 理事長	石 井 英 子
14		新座市西部高齢者相談センター センター長	稲 垣 一 久
15		市民代表	山 崎 朱 美
16		市民代表	皆 川 隆 一
17		市民代表	山 根 主 吉
18	事業用自動車の運転手が組織する団体の代表	西武バス労働組合 組合本部	小 河 憲 司
19		東武バス労働組合 新座分会	上 野 一 夫
20	学識経験者	流通経済大学経済学部 教授	板 谷 和 也
21	関係行政機関	関東運輸局埼玉運輸支局 輸送担当 首席運輸企画専門官	坂 井 貴 夫
22		新座警察署交通課 課長	六 平 一 良
23		埼玉県朝霞県土整備事務所 道路部長	強 矢 賢
24		埼玉県企画財政部交通政策課 主査	島 根 淳
25	市	まちづくり未来部 部長 ※市長代理	廣 澤 真 吾
26		総合福祉部 部長	伊 藤 佳 史
27		いきいき健康部 部長	平 野 静 香
28		インフラ整備部 部長	山 本 実



第２回新座市地域公共交通会議

議題（１）計画構成と検討スケジュールについて

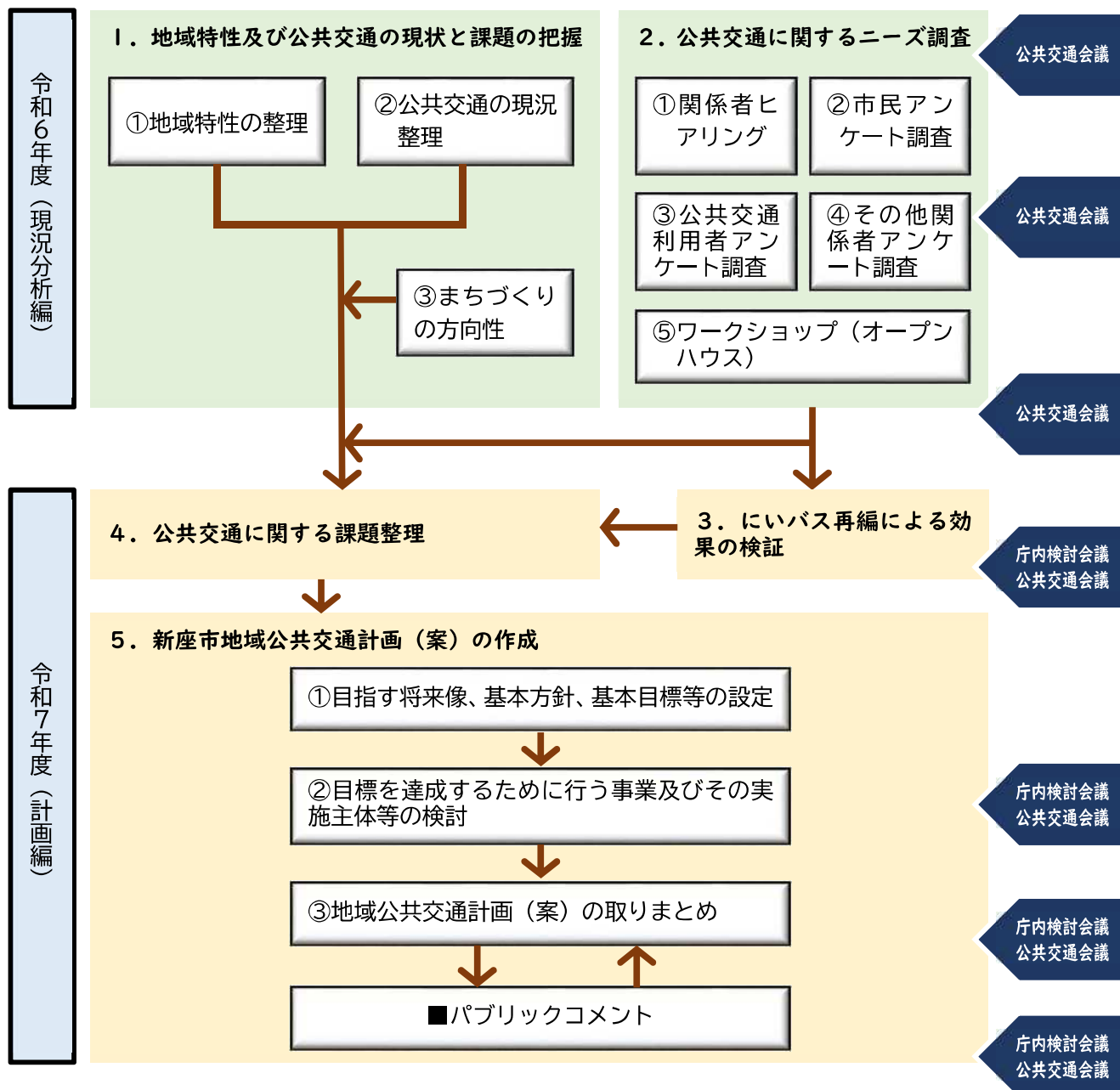
令和６年８月

新 座 市

1. 計画構成

本計画の計画構成は以下に示すとおり、初年度はアンケート調査等により現況分析をし、2年目に具体の計画作成を行います。

■計画構成及びフローチャート



2. 検討内容

各年度の検討内容は以下に示すとおりです。

■令和6年度検討内容

NO.	項 目	検討内容
1	地域特性及び公共交通の現状と課題の把握	
	①地域特性の整理	・既存資料を基に、市のまちづくりの方向性や地勢・人口分布、施設の分布及び整備状況、交通、観光等、市の地域特性を整理
	②公共交通の現況整理	・市や交通事業者が所有するデータや民間送迎バス等の運行情報を収集し、公共交通の運行状況や利用状況を整理 ・携帯端末情報等のビックデータ等を活用し移動特性を把握
	③上位計画や関連計画等におけるまちづくりの方向性の整理	・総合計画等の上位計画や地域公共交通システム計画等の関連計画を基に、市の公共交通の役割等を整理
2	公共交通に関するニーズ調査	
	①関係者ヒアリング	(交通事業者及び市内関係各課へのヒアリング) ・まちづくりの現状と取組内容、公共交通の役割、問題点などについて把握 ・再編の方向性について検討
	②市民アンケート調査	・計画を策定する上での問題点や課題を分析するため、公共交通に対する市民ニーズや利用状況等をアンケート調査により把握 (対象者:15歳以上の市民 3,000人)
	③公共交通利用者アンケート調査	・鉄道・路線バス・にいはス利用者を対象に、利用状況や利用ニーズを調査 ○鉄道及び路線バス利用者(各1,500人程度) ○にいはス利用者
	④その他関係者アンケート調査	・移動に係る以下の関係者に対し、移動状況や公共交通施策に関する意見等を聴取 ○福祉施設管理者アンケート ○集客施設管理者アンケート ○一般企業アンケート ○来街者アンケート
	⑤移動課題のある地域での意向調査	・交通不便地域等の移動課題のある地域を対象にワークショップまたはオープンハウスを開催 ・地域住民の移動状況や移動ニーズを把握し、改善の方向性等に関する意見を聴取

■令和7年度検討内容

NO.	項 目	検討内容
3	にいいバス再編による効果の検証	・現況・課題の整理やニーズ調査の結果を踏まえ、令和5年4月に実施した「にいいバス」の再編による効果を検証 ○再編目標の達成状況 ○運行内容に対する利用者の満足度 ○その他の交通手段との競合状況 など
4	公共交通に関する課題整理	・前項の調査結果を踏まえ、市が抱える公共交通の問題点について地域ごとに地域別カルテとして整理 ・今後対応が必要となる課題を抽出
5	新座市地域公共交通計画(案)の作成	
	①目指す将来像、基本方針、基本目標等の設定	・整理した課題を踏まえ、課題解決を図るため基本方針を検討し、その方針に基づく目標及び数値目標について、上位計画・関連計画との整合を図りながら設定 ・地域公共交通のあり方、公共交通サービス提供の方針、公共交通とまちづくりとの連携方針、公共交通の運営・運行体制の方針等を設定
	②目標を達成するために行う事業及びその実施主体等の検討	・目標を達成する上で必要となる地域公共交通の事業内容、実施主体、事業スケジュールなどを検討 ・達成状況の評価を行うための進行管理方法や管理体制等を設定
	③新座市地域公共交通計画の取りまとめ	・上記を踏まえた計画(素案)を作成 ・パブリックコメントでの意見を踏まえて、計画書(案)及び計画書概要版(案)を取りまとめ ・公共交通を補完する新たな交通サービスの検討及び事業継続に向けた対策を検討

3. 検討スケジュール

本計画は、以下の検討スケジュール（案）を基本として実施します。

■令和6年度検討スケジュール（案）

	令和6年								令和7年			備考
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1) 地域特性及び公共交通の現状と課題の把握												
2) 公共交通に関するニーズ調査												
①関係者ヒアリング												
②市民アンケート調査												
③鉄道・バス利用者アンケート調査												
④にいいバス利用者アンケート調査												
⑤その他アンケート調査												
地域公共交通会議				●			●			●		

■令和6年度 会議の開催予定（案）

協議会	時期	検討内容
第1回	8月	・計画構成と検討スケジュールについて ・アンケート調査について
第2回	11月	・アンケート調査結果について （調査②、③、④）
第3回	2月	・その他アンケート調査結果について（調査⑤） ・関係者ヒアリング結果について（調査①） ・令和7年度のスケジュールについて （交通事業者部会・庁内検討会議の設置について）

■令和7年度検討スケジュール（案）

	令和7年										令和8年			備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1)にいバス再編による 効果の検証														
2)公共交通に関する課 題整理														
新座市地域公共交通計 画（案）の作成														
①将来像、基本方針、基 本目標等の設定														
②目標達成のための事 業及び実施主体の検討														
③地域公共交通計画 （案）の取りまとめ						素案					原案			
パブリックコメント														
公共交通庁内会議				●			●		●			●		
地域公共交通会議				●			●		●			●		

■令和7年度 会議の開催予定（案）

協議会	時期	検討内容
第1回	7月	・地域公共交通の課題について ・計画方針、計画目標について
第2回	10月	・地域公共交通に関する施策・事業について
第3回	12月	・計画素案について ・計画のとりまとめについて（パブコメ案）
第4回	3月	・パブコメ結果について（状況により書面開催を予定）

※上記以外に必要なに応じて交通事業者部会を開催

第2回新座市地域公共交通会議

議題（2）アンケート調査について

令和6年8月

新 座 市

1. 公共交通ニーズ調査概要

(1) アンケート調査による意向把握

公共交通のニーズは、アンケート調査による方法とヒアリング調査等の対面による方法で意向を把握します。アンケート調査は、市民アンケート調査を含め以下の7種類の調査を実施します。

■アンケート調査の概要

No.	調査名	調査のねらい	対象	配布・回収方法
①	市民アンケート	移動状況、公共交通の利用状況・利用ニーズ、市の公共交通施策に対する考えを広く聴取	15歳以上の市民 3,000人 (無作為抽出)	配布：郵送 回収：郵送・WEB *WEB 回収：調査票にURL・二次元コードを記載
②	公共交通（鉄道及び路線バス）利用者アンケート	詳細の利用状況（乗降場所・利用目的等）や利用ニーズ（求める改善策等）を聴取	鉄道及び路線バス利用者 (各 1,500人程度を想定)	平日 午前6時から午後6時まで（1日間） 配布：主要駅・バス停での配布 回収：郵送・WEB
③	にいはバス利用者アンケート	詳細の利用状況（乗降場所・利用目的等）や利用ニーズ（求める改善策等）を聴取	にいはバス利用者	平日 にいはバス運行時間（1日間） 配布：調査員が同乗し車内で配布 回収：郵送・WEB
④	福祉関係者アンケート	福祉施設利用者の移動状況、公共交通に対する要望等を聴取	高齢者等が多く利用する福祉施設の施設職員	配布：郵送等 回収：郵送・WEB
⑤	集客施設アンケート	施設利用者の移動状況、公共交通に対する要望等を聴取	病院や商業施設など多くの人が来訪する集客施設の管理者	配布：郵送等 回収：郵送・WEB
⑥	一般企業アンケート	送迎バスの利用状況、公共交通に対する要望等を聴取	送迎バス等を運行する企業・団体の代表者	配布：郵送等 回収：郵送・WEB
⑦	来街者アンケート	来訪目的、移動手段（市まで、市内）、公共交通の利用ニーズ等	新座市を訪れた市外在住者	配布：二次元コード付き調査カード等 回収：WEB

(2) ヒアリング調査等による意向把握

ヒアリング調査は、交通事業者、庁内関係課、課題地域を対象として実施します。交通事業者及び庁内関係課に対しては、ヒアリングシートを基本とし必要に応じてヒアリングを実施します。また、課題地域については、ワークショップ又はオープンハウスを開催し、地域住民の意見を聴取します。なお、これについては、立地適正化計画でも実施するため、状況に応じて協力して実施していきます。

■ヒアリング調査の概要

No.	調査名	調査のねらい	対象者	配布・回収方法
⑧	交通事業者ヒアリング	運行状況、利用状況、運行課題、今後の意向、市の公共交通施策に対する考え 等	バス・タクシー・鉄道・シェアサイクル事業者	直接ヒアリング（対面・WEB）又はヒアリングシートを配布
⑨	庁内関係課ヒアリング	施策の取組状況、公共交通に関する課題・意向等	庁内関係各課	直接ヒアリング（対面・WEB）又はヒアリングシートを配布
⑩	課題地域住民の意向調査	地域住民の移動状況や移動ニーズを把握し、改善の方向性等に関する意見を聴取	交通不便地域等の移動課題のある地域の住民	ワークショップ又はオープンハウスの開催による直接聴取

(3) 調査スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①市民		検討	調査準備	発送・回収		集計分析				
②利用者		検討	調査準備	調査		集計分析				
③にいいバス		検討	調査準備	調査		集計分析				
④福祉関係者		検討	地域公共交通会議	調査準備	発送・回収	地域公共交通会議			地域公共交通会議	
⑤集客施設		検討		調査準備	発送・回収	集計分析				
⑥一般企業		検討		調査準備	発送・回収	集計分析				
⑦来街者		検討		調査準備	発送・回収	集計分析				
⑧交通事業者					検討	調査準備		調査		
⑨庁内関係課					検討	調査準備		調査		
⑩地域住民	※立適策定業務と連携して開催予定（R6又はR7）									

2. 各種調査概要

(1) 市民アンケート調査

1) 調査方法

■調査対象

- ・15歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
- ・配布数は7地域の人口（令和5年12月時点）により算出した以下を想定

地域	配布人数
北東地域(東北北野・東・野火止五～八丁目・畑中三丁目)	805
北西地域(新座・中野・大和田)	318
東部地域(新塚・栄・池田)	255
中央地域(畑中一～二丁目・馬場・野火止一～二丁目)	317
西部地区(野火止三～四丁目・菅沢・あたご)	189
南部地域(堀ノ内・道場・片山・石神・野寺・栗原)	789
南西地域(本多・西堀・新堀)	327
合計	3,000

- ・立地適正化計画策定業務におけるアンケート（8月上旬実施予定）との対象者の重複を避ける

■調査時期

- ・令和6年8～9月頃

■配布・回収方法

- ・郵送による配布、アンケート票の返送又はWEBによる回答

■配布資料

- ・案内文（A4判1枚）、アンケート票（A4判3枚程度）、返信用封筒（長3）
- ・発送元は新座市として、市の封筒デザインを使用予定（以下同様）

2) 必要標本数

下記の計算式をもとに、15歳以上人口146,152人（令和6年5月1日現在）における必要標本数（アンケート回収数）を算出した。

■必要標本数(n)の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(100-P)} + 1}$$

■係数設定

係数説明	設定値
N：全体の人数（母集団）	146,152
E：許容できる誤差の範囲（一般的に3～5%）	4%
P：母比率（必要標本数は50%で最大となる）	50%
K：信頼度係数（信頼度を95%とする場合の係数1.96）	1.96

■必要標本数と配布数の計算結果

n：アンケート必要標本数（アンケート回収数）＝ 598 枚

回収率	必要配布数
20%	2,989
30%	1,993
40%	1,494

3) 調査項目

2021 年度に実施した公共交通に関する市民アンケート調査と比較ができるようにするため、2021 年度の調査項目を踏まえて、調査項目を設定する。

主な調査項目	目的
回答者の基本属性	回答者の属性について把握し、他の調査項目とのクロス集計に使用する。
自動車・バイク・自転車の利用状況	自動車への依存度や自動車による送迎の実態について把握するとともに、免許の返納意向から、今後の公共交通の需要について検討する。また、公共交通の利用状況と合わせて、自動車から公共交通への転換可能性について検討する。
日頃の移動状況	日常の移動状況を把握し、移動特性から公共交通需要の多い時間帯や区間等を検討する。また、移動の困難度やその理由から、公共交通の課題の抽出や他の調査項目とのクロス集計に使用する。 (立適との共通化について検討)
鉄道利用について	公共交通の利用実態や意向を把握し、課題を抽出する。
路線バス利用について	
にいバス利用について	にいバスの利用実態や意向を把握し、課題を抽出する。また、運行再編の効果や利用者の意向について把握する。
タクシー利用について	タクシーの利用状況を把握し、他の公共交通との役割分担の検討材料とする。
シェアサイクル利用について	シェアサイクルの利用状況や意向について把握し、公共交通を補完する交通手段としての役割について検討する。
今後の公共交通について	行政による公共交通施策に対する市民の意向を把握し、施策の妥当性を検証する。
自由回答	公共交通全般に対する意見を把握する。

【新座市 公共交通に関するアンケート調査】 市民アンケートご協力をお願い

日頃から、市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新座市では、市民の皆様の日常・社会生活を支えるとともに、持続的な公共交通サービスの提供を目指すため、新座市地域公共交通会議を設置し、地域公共交通に関する基本的な方針となる「地域公共交通計画」の作成を進めております。

つきましては、計画の策定に向けて、市民の皆様の日頃の移動実態や公共交通の利用状況などを把握し、課題などを整理することを目的として、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本アンケート調査は、令和6年●月●日現在で市内にお住まいの方の中から、無作為に抽出した3,000人の方を対象にお送りしています。アンケートは、無記名式となっており、お答えいただいた内容は全て統計的に処理し、この調査の目的以外に使用することはありません。

お忙しいことと存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月

新座市地域公共交通会議 会長 板谷 和也
事務局：新座市まちづくり未来部交通政策課

【ご回答にあたってのお願い】

1 このアンケートは、封筒の宛名のご本人様がお答えください。ただし、ご回答が困難な場合は、ご家族の方などが代わりに回答しても差し支えありません。

2 ご回答は、調査票の郵送、又はWEBから可能です。どちらか一方の方法でご回答ください。

①郵送の場合

回答は、ボールペン、濃い鉛筆などで、アンケート票に直接ご記入ください。

ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手不要）。

②WEB（スマートフォンやパソコンからの回答）の場合

右の二次元コードを読み取るか、以下のURLから回答専用ページにアクセスしてください。なお、調査票へのご記入及びご投函は不要です。

URL <https://questant.jp/q/●●●●>

二次元
コード

3 令和6年●月●日（●）までにご回答、ご投函いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

新座市地域公共交通会議 事務局

新座市まちづくり未来部交通政策課 電話：048-477-2484

【調査業務受託会社】東日本総合計画株式会社

新座市 公共交通に関する市民アンケート

- ・ 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 答えたくない質問などがありましたら、質問を飛ばしていただいても差し支えございません。

【1】ご回答いただく方についてお伺いします。

Q1	性別(1つだけ○)	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
Q2	年齢 (1つだけ○)	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上
Q3	職業 (1つだけ○)	1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. 会社・団体などの役員 5. アルバイト・パートタイマー 6. 学生 7. 家事従事者 8. 無職 9. その他 []
Q4	家族構成 (1つだけ○)	1. 単身世帯(ひとり暮らし) 2. 一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ) 3. 二世帯世帯(親子など) 4. 三世帯世帯(親と子と孫など) 5. その他 []
Q5	居住地 (1つだけ○)	北東地域➡ 1. 東北 2. 北野 3. 東 4. 野火止五～八丁目 5. 畑中三丁目 北西地域➡ 6. 新座 7. 中野 8. 大和田 東部地域➡ 9. 新塚 10. 栄 11. 池田 中央地域➡ 12. 畑中一・二丁目 13. 馬場 14. 野火止一・二丁目 西部地域➡ 15. 野火止三・四丁目 16. 菅沢 17. あたご 南部地域➡ 18. 堀ノ内 19. 道場 20. 片山 21. 石神 22. 野寺 23. 栗原 南西地域➡ 24. 本多 25. 西堀 26. 新堀

【2】自動車・バイク・自転車の利用状況についてお伺いします。

Q6 ご家庭にある自身で運転できる車両をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 自分専用の自動車 2. 家族と共用の自動車 3. 原付・バイク 4. 特定小型原付(電動キックボード等)
5. 電動アシスト付き自転車 6. 自転車(電動アシストなし) 7. この中に自身で運転できる車両はない

Q7 自動車運転免許証の保有状況をお答えください。(1つだけ○)

1. 免許を持っている 2. 免許を持っていたが返納した→Q11へ 3. 免許を持っていない→Q11へ

Q8 運転免許証の返納についての考えをお答えください。(1つだけ○)

1. 5年以内に運転免許証を返納する予定である・返納しても良い
2. 将来的には返納しても良い 3. 現在のところ運転免許証を返納する予定はない

Q9 自動車の運転頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんどない

Q10 ご家族や知人を自動車で送迎する頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんどない

Q11 ご家族や知人に自動車で送迎してもらう頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんどない

Q12 自転車(電動アシスト付きを含む)の利用頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんどない

【3】日頃の外出（目的別の移動状況）についてお伺いします。

【平日の最も多い移動についてお答えください。】

Q13 目的（1つだけ○）

1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買い物 5. 通院 6. 趣味・娯楽・食事・習い事 7. その他 []

Q14 頻度（1つだけ○）

1. 週に4日以上 2. 週に2～3日 3. 週に1日 4. 月に数日 5. 年に数日

Q15 行き先（このページの一番下の「**行き先リスト**」の選択肢番号を記入してください。）

[番号:] 選択肢にない・所在地が分からない場合⇒[施設名・市区町村名:]

Q16 自宅を出る時刻・自宅に着く時刻

自宅を出る時刻 [午前・午後 時台] / 自宅に着く時刻 [午前・午後 時台]

Q17 移動手段（あてはまるもの全てに○）

1. 鉄道 2. 路線バス（にいバス以外） 3. にいバス 4. タクシー 5. 会社・施設等の送迎車
6. 自動車（自分で運転） 7. 自動車（他の人が運転） 8. 原付・バイク 9. 特定小型原付（電動キックボード等）
10. 自転車 11. 徒歩 12. その他 []

【土曜・日曜・祝日】の最も多い移動についてお答えください。】

Q18 目的（1つだけ○）

1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買い物 5. 通院 6. 趣味・娯楽・食事・習い事 7. その他 []

Q19 頻度（1つだけ○）

1. 週に2日以上 2. 週に1日 3. 月に数日 4. 年に数日

Q20 行き先（このページの一番下の「**行き先リスト**」の選択肢番号を記入してください。）

[番号:] 選択肢にない・所在地が分からない場合⇒[施設名・市区町村名:]

Q21 自宅を出る時刻・自宅に着く時刻

自宅を出る時刻 [午前・午後 時台] / 自宅に着く時刻 [午前・午後 時台]

Q22 移動手段（あてはまるもの全てに○）

1. 鉄道 2. 路線バス（にいバス以外） 3. にいバス 4. タクシー 5. 会社・施設等の送迎車
6. 自動車（自分で運転） 7. 自動車（他の人が運転） 8. 原付・バイク 9. 特定小型原付（電動キックボード等）
10. 自転車 11. 徒歩 12. その他 []

（Q15・Q20 用） **行き先リスト**

新 座 市 内	北東地域⇒	①東北	②北野	③東	④野火止五～八丁目	⑤畑中三丁目
	北西地域⇒	⑥新座	⑦中野	⑧大和田	東部地域⇒	⑨新塚 ⑩栄 ⑪池田
	中央地域⇒	⑫畑中一・二丁目	⑬馬場	⑭野火止一・二丁目		
	西部地域⇒	⑮野火止三・四丁目	⑯菅沢	⑰あたご	南西地域⇒	⑳本多 ㉕西堀 ㉖新堀
	南部地域⇒	⑱堀ノ内	㉑道場	㉒片山	㉓石神	㉔野寺 ㉕栗原
市 外	埼玉県内⇒	㉗朝霞市	㉘志木市	㉙所沢市	㉚三芳町	㉛さいたま市 ㉜川越市
		㉝戸田市	㉞和光市	㉟富士見市	㊱ふじみ野市	
	東京都(23区)⇒	㊲練馬区	㊳千代田区	㊴新宿区	㊵豊島区	㊶板橋区
	東京都(多摩)⇒	㊷東久留米市	㊸清瀬市	㊹西東京市		

【日頃の移動で困ることについてお答えください。】

Q23 あなたの日頃の移動で困ることはありますか。(1つだけ○)

1. 移動に困っている 2. 移動にやや困っている
3. 移動にあまり困っていない → Q25へ 4. 移動に困っていない → Q25へ

Q24 困ると感じる理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 自動車を持っていないため移動が不便 2. 鉄道駅やバス停まで遠い 3. バスの本数が少なくて不便
4. 駅周辺に駐輪場・駐車場がない 5. 移動に費用がかかりすぎる 6. 身体的な理由のため外出が困難
7. その他「 」

【4】 鉄道の利用について伺います。

Q25 鉄道の利用頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日
6. ほとんど利用しない→Q28へ

Q26 自宅からの移動でよく利用する駅をお答えください。(1つだけ○)

- | | | | | | |
|---------|--|---------|-----------|-----------|---------|
| JR武蔵野線➡ | 1. 新座駅 | 2. 北朝霞駅 | | | |
| 東武東上線➡ | 3. 志木駅 | 4. 朝霞台駅 | 5. 柳瀬川駅 | 6. 朝霞駅 | |
| 西武池袋線➡ | 7. 大泉学園駅 | 8. 保谷駅 | 9. ひばりヶ丘駅 | 10. 東久留米駅 | 11. 清瀬駅 |
| その他➡ | 12. その他「 駅」 | | | | |

Q27 自宅からよく利用する駅までの移動手段をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 路線バス（にいバス以外） 2. にいバス 3. タクシー 4. 会社・施設等の送迎車
5. 自動車（自分で運転） 6. 自動車（他の人が運転） 7. バイク・原付 8. 特定小型原付（電動キックボード等）
9. 自転車 10. 徒歩 11. その他 []

Q28 鉄道を利用するための条件として重要だと思うことをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 運行本数・運行間隔 2. 始発(初電)時刻 3. 終発(終電)時刻 4. 時刻表どおりの運行(定時性)
5. 目的地までの所要時間 6. 運賃・料金 7. 鉄道同士の乗り継ぎ 8. バスなど他の公共交通との乗り継ぎ
9. 車内環境・混雑 10. 案内情報(路線、時刻表など)の充実
11. いずれにしても鉄道を利用することはない 12. その他「 」

【５】路線バス（にいバスを除く）の利用について伺います。

Q29 バスを利用する場合、ご自宅からバス停まで、どの程度の距離ならば許容できますか。（1つだけ○）

1. 50m(徒歩で1分) 2. 100m(徒歩で1～2分) 3. 200m(徒歩で3～4分) 4. 300m(徒歩で5～6分)
5. 500m(徒歩で7～10分) 6. 1km(徒歩で15～20分) 7. 1km以上(徒歩で20分以上)

Q30 自宅からの最寄りのバス停（にいバスのバス停を除く）についてお答えください。（1つだけ○）

1. 最寄りのバス停を知っている「最寄りのバス停まで徒歩 分くらい」 2. 最寄りのバス停を知らない

Q31 市内の路線バスの利用頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日
6. ほとんど利用しない

Q32 市内の路線バスについて、どのように感じていますか。（それぞれ1つだけ○）

※路線バスを利用しない方も分かる範囲でお答えください。

		満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
例	該当する番号を○で囲んでください 例➡	1	2	③	4	5
a	行き先・運行経路	1	2	3	4	5
b	運行本数・運行間隔	1	2	3	4	5
c	始発時刻・終発時刻	1	2	3	4	5
d	時刻表どおりの運行（定時性）	1	2	3	4	5
e	運賃	1	2	3	4	5
f	バス停の位置	1	2	3	4	5
g	鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ	1	2	3	4	5
h	バス待ち環境	1	2	3	4	5
i	車内の混雑状況	1	2	3	4	5
j	バスの案内情報（路線、時刻表など）	1	2	3	4	5
k	リアルタイムの運行情報（バスカーションシステムなど）	1	2	3	4	5
l	総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

【6】にいいバス（コミュニティバス）の利用についてお伺いします。

Q33 にいいバスをご存じですか。（1つだけ○）

1. 運行内容も知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない→Q45へ

Q34 自宅からの最寄りのにいいバスのバス停についてお答えください。（1つだけ○）

1. 最寄りのバス停を知っている〔最寄りのバス停まで徒歩 分くらい〕 2. 最寄りのバス停を知らない

Q35 にいいバスの利用頻度をお答えください。（1つだけ○）

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日
6. ほとんど利用しない→Q38へ

Q36 普段、にいいバスを利用する曜日（あてはまるもの全てに○）

1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日 6. 土曜日 7. 日曜日

Q37 よく利用するコースをお答えください。（それぞれ1つだけ○）

1. 志木コース 2. ひばりヶ丘コース 3. 東久留米コース 4. 清瀬コース

回答後Q39へ

Q38 （にいいバスを「ほとんど利用しない」と回答した方）にいいバスを利用しない理由をお答えください。
（あてはまるもの全てに○）

1. 他の交通手段が便利だから 2. 目的地へ行けないから 3. 自宅からバス停まで遠いから
4. 運行本数が少ないから 5. 利用したい時間帯に便がないから 6. 運賃が高いから
7. 車内が混むから 8. 快適に待てないから 9. 時間が不正確だから 10. ルートが分かりにくいから
11. 乗り継ぎが不便だから 12. 外出する用事がないから 13. その他 []

Q39 にいバスについて、どのように感じていますか。（それぞれ1つだけ○）

※にいバスを利用しない方も分かる範囲でお答えください。

		満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
例	該当する番号を○で囲んでください 例➡	1	2	③	4	5
a	行き先・運行経路	1	2	3	4	5
b	運行本数・運行間隔	1	2	3	4	5
c	始発時刻・終発時刻	1	2	3	4	5
d	時刻表どおりの運行（定時性）	1	2	3	4	5
e	運賃	1	2	3	4	5
f	バス停の位置	1	2	3	4	5
g	にいバス同士の乗り継ぎ	1	2	3	4	5
h	鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ	1	2	3	4	5
i	バス待ち環境	1	2	3	4	5
j	車内の混雑状況	1	2	3	4	5
k	バスの案内情報（路線、時刻表など）	1	2	3	4	5
l	リアルタイムの運行情報（バスケーショシステムなど）	1	2	3	4	5
m	総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

Q40 にいバスは令和5年（2023年）4月に路線の見直しを行い、志木・ひばりヶ丘・東久留米・清瀬コースの4路線での運行体制となりました。この見直しはご存じでしたか。（1つだけ○）

1. 知っていた	2. 知らなかった→Q45へ
----------	----------------

Q41 にいバスの見直しによって、にいバスの利用頻度は変わりましたか。（1つだけ○）

1. 見直し後に利用するようになった	2. 利用頻度が前より増えた	3. 利用頻度は変わらない
4. 利用頻度が前より減った	5. 見直し後は利用しなくなった	6. にいバスを利用していない

Q42 にいバスの見直しによって、にいバスの利便性はどのようになったと感じますか。（1つだけ○）

1. 非常に便利になった→Q43へ	2. 便利になった→Q43へ	3. 変わらない→Q45へ
4. 不便になった→Q44へ	5. 非常に不便になった→Q44へ	6. 分からない→Q45へ

Q43 にいバスの見直しによって、便利になったと感じる理由をお答えください（あてはまるもの全てに○）

1. 乗り継ぎなしで目的地まで行けるようになったから	2. 目的地までの乗車時間が減ったから
3. バス停が新設されたから	4. 運行本数が増えたから
5. 利用したい時間帯に運行するようになったから	6. 無料乗車の対象が拡大されたから
7. 車内の混雑が緩和したから	8. バスの遅れが減ったから
9. 運行ルートが分かりやすくなったから	10. にいバス同士の乗り継ぎがしやすくなったから
8. その他 []	回答後Q45へ

Q44 にいバスの見直しによって、不便になったと感じる理由をお答えください（あてはまるもの全てに○）

1. 乗り継ぎをしないと目的地まで行けなくなったから	2. 目的地までの乗車時間が増えたから
3. バス停が廃止されたから	4. 運行本数が減ったから
5. 利用したい時間帯の運行がなくなったから	6. 無料乗車の年齢が引き上げられたから
7. 運賃が高くなったから	8. 車内の混雑がひどくなったから
9. バスの遅れが増えたから	10. 運行ルートが分かりにくくなったから
11. にいバス同士の乗り継ぎがしにくくなったから	12. その他 []

【7】 タクシーの利用についてお伺いします。

Q45 乗車場所又は降車場所が新座市内となるタクシー利用の頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 年に数日
6. ほとんど利用しない→Q48へ

Q46 タクシーを利用する方法をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 駅などのタクシー乗り場で乗る 2. 走行中(流し)のタクシーに乗る 3. 電話で予約をする
4. アプリで予約をする 5. その他 []

Q47 タクシーを利用する場面や理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 乗車場所又は降車場所において他の公共交通がない 2. 夜間で他の公共交通が運行していない
3. バスの時間が合わない 4. 身体的理由や飲酒などで自動車や自転車を運転できない 5. 荷物が多い
6. ほかの移動手段がない 7. 急いでいる 8. 天候が悪い
9. その他 []

【8】シェアサイクルについて伺います。

【シェアサイクルについて】

「シェアサイクル」とは、スマートフォン等を使って、好きな時に、好きな場所で、好きな時間だけ利用できるシェア（共有）型の自転車です。

新座市においても、幅広い世代の方が日常の移動手段の一つとして活用しており、市内の移動に留まらず、近隣市域をまたいだ広域的な移動手段としても利用されています。

地域の活性化や観光振興、公共交通の機能の補完・代替等に役立てる移動手段として有効であることから、シェアサイクル事業に取り組んでいます。



市内のサイクルポート

Q48 「シェアサイクル」についてご存じでしたか。(1つだけ○)

1. シェアサイクルを知っている 2. シェアサイクルを知らない → Q52へ

Q49 新座市内でシェアサイクルが利用できることはご存じでしたか。(1つだけ○)

1. 知っている 2. 知らない → Q52へ

Q50 シェアサイクルの利用頻度をお答えください。（出発地又は目的地が新座市内の利用）（1つだけ○）

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんど利用しない

Q51 「ほとんど利用しない」と回答した方）シェアサイクルを利用しない理由をお答えください。
(あてはまるもの全てに○)

1. 自転車を持っているから 2. 自転車以外の移動手段で十分だから 3. 自転車に乗れないから
4. 使いたい場所にポートがないから [ポートがあると良いと思う場所]]
5. 料金が安いから 6. 利用方法がよく分からないから 7. その他 []

【9】今後の公共交通に対する取り組みについて伺います。

近年、運転手のなり手不足の深刻化や労働時間規制の強化、燃料費高騰等の影響により、バスやタクシー等の交通事業者においては、運行の継続が喫緊の課題となっています。そのような中、新座市では、約6,000万円（令和5年度決算額）の財政負担によりコミュニティバス「にいバス」を運行していますが、今後の公共交通のあり方については、現状にとらわれずに改めて検討していく必要があると考えています。

Q52 公共交通の維持・存続に当たり、優先すべきと考える「利用目的」を選んでください。（1つだけ○）

1. 「通勤・通学」 2. 「病院」への通院 3. 「買い物」 4. 「公共施設」
5. その他 []

Q53 公共交通に対する市の財政負担について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つだけ○)

1. 今よりも公共交通を充実させるため、市の財政負担を増やすべき
2. これまでどおりの公共交通を維持するため、市の財政負担を維持するべき
3. 公共交通に対する市の財政負担を減らすべき
4. 幹線となる路線バスの運行を維持するためには、コミュニティバス等の運行縮小はやむを得ない
5. 幹線となる路線バスの運行が縮小されたとしても、コミュニティバス等の運行を維持すべき
6. わからない 7. その他 []

Q54 あなたの住む地域に導入した方がよいと考える交通施策を選んでください。(あてはまるもの全てに○)

1. コミュニティバス（にいはス）
2. 自動運転バス（運転手が運転せず監視をするのみ又は運転手が不在で運行するバス）
3. デマンド型乗合タクシー（事前の予約状況に応じて運行経路や停車場所、時刻等が決まる乗合型のタクシー）
4. 乗合タクシーのエリア定額乗り放題（3. のデマンド型乗合タクシーを月額制など定額で利用できるサービス）
5. 自家用車によるライドシェア（タクシーが不足する時間等に一般のドライバーが自家用車で運送するサービス）
6. 自治会やNPO法人等による移動支援サービス（地域が主体となり無償又はガソリン代等のみで送迎するもの）
7. シェアサイクル 8. 高齢者等に対するタクシー利用券の交付
9. 特に導入する必要はない 10. その他 []

Q55 あなたの住む地域における取り組みについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つだけ○)

1. 積極的に既存の公共交通の利用を促進し、利用者数を増やすべき
2. 既存の公共交通の利便性向上を図り、利用者数を増やすべき
3. デマンド型交通など、決まった時間に決まった路線を走るバス以外の公共交通を検討するべき
4. 市や企業の協力のもと、自治会などの運営による交通サービス事業を検討するべき
5. シェアサイクルなど、新たな交通手段の導入を進めるべき
6. 特に取り組みは必要ない 7. その他 []

【10】 そのほか、新座市内の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。

--

(2) 公共交通利用者アンケート（鉄道利用者、路線バス利用者）

1) 調査方法

■調査対象

- ・鉄道、路線バスを利用する高校生以上の方（目視で判断）
- ・鉄道、路線バスそれぞれ 1,500 部程度を目安に配布

■調査時期

- ・令和 6 年 9 月頃

■配布・回収方法

- ・下記の場所で調査員が配布、WEB 又はアンケート票の返送による回答

新座駅（南口）、志木駅（南口）、朝霞台駅、清瀬駅、東久留米駅、ひばりヶ丘駅、
新座市役所（バス利用者のみ）

※各場所の改札前やバス停付近（バス待ち客向け）で配布を行う

- ・調査日時は平日の午前 6 時から午後 6 時まで（1 日間）

■配布資料

- ・アンケート回答用 WEB ページのリンク先を記載（二次元コード、URL）したカードを配布又は提示
- ・希望者には、案内文（A4 判 1 枚）、アンケート票（A4 判 3 枚程度）を封入した返信用封筒（長 3）を配布

※WEB からの回答が多いことを想定してアンケート構成を検討

2) 調査項目

同一の調査票を使用し、鉄道及び路線バスの利用について伺う。

主な調査項目	目的
回答者の基本属性	回答者の属性について把握し、他の調査項目とのクロス集計に使用する。
アンケート配布時の移動状況について	鉄道・路線バスの利用目的や利用状況、端末交通手段を把握し、課題を抽出する。
鉄道利用について	鉄道の利用条件を把握する。
バス利用について	バスの利用条件を把握する。
自由回答	公共交通全般に対する意見を把握する。

新座市 公共交通に関するアンケート 【鉄道・路線バス利用者向け】

- ・ 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 答えたくない質問などがありましたら、質問を飛ばしていただいても構いません。

【1】ご回答いただく方についてお伺いします。

Q1	性別（1つだけ○）	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
Q2	年齢 （1つだけ○）	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上
Q3	職業 （1つだけ○）	1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. 会社・団体などの役員 5. アルバイト・パートタイマー 6. 学生 7. 家事従事者 8. 無職 9. その他 []
Q4	家族構成 （1つだけ○）	1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ） 3. 二世帯世帯（親子など） 4. 三世帯世帯（親と子と孫など） 5. その他 []
Q5	居住地 （1つだけ○）	1. 新座市内 ➡ ページ下部の地域リストの番号を記入してください [] 2. 新座市外 ➡ 市区町村名を記入してください [市・区・町・村]
Q6	ご家庭にあるご自身 で運転できる車両 (あてはまるもの全てに○)	1. 自分専用の自動車 2. 家族と共用の自動車 3. 原付・バイク 4. 特定小型原付（電動キックボード等） 5. 電動アシスト付き自転車 6. 自転車（電動アシストなし） 7. この中に自身で運転できる車両はない
Q7	自動車運転免許の保 有状況（1つだけ○）	1. 免許を持っている 2. 免許を持っていたが返納した 3. 免許を持っていない
Q8	運転免許証の返納に ついて（1つだけ○）	1. 5年以内に運転免許証を返納する予定である・返納しても良い 2. 将来的には返納しても良い 3. 現在のところ運転免許証を返納する予定はない

【2】本日（このアンケートを受け取った時）の移動状況についてお伺いします。

Q9 このアンケートを受け取った時の移動の出発地と目的地をお答えください。（1つだけ○）

出発地	1. 自宅 2. 自宅以外(新座市内) ➡ ページ下部の地域リストの番号を記入してください [] 3. 自宅以外(新座市外) ➡ 市区町村名を記入してください [市・区・町・村]
出発時刻	[午前・午後 時台]
目的地	1. 自宅 2. 自宅以外(新座市内) ➡ ページ下部の地域リストの番号を記入してください [] 3. 自宅以外(新座市外) ➡ 市区町村名を記入してください [市・区・町・村]

Q10 このアンケートを受け取った時の移動の目的をお答えください。（1つだけ○）

1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買い物 5. 通院 6. 趣味・娯楽・食事・習い事 7. その他 []
--

(Q5・Q9 用) 地域リスト

新 座 市 内	北東地域 ➡	①東北 ②北野 ③東 ④野火止五～八丁目 ⑤畑中三丁目
	北西地域 ➡	⑥新座 ⑦中野 ⑧大和田
	東部地域 ➡	⑨新塚 ⑩栄 ⑪池田
	中央地域 ➡	⑫畑中一・二丁目 ⑬馬場 ⑭野火止一・二丁目
	西部地域 ➡	⑮野火止三・四丁目 ⑯菅沢 ⑰あたご
	南部地域 ➡	⑱堀ノ内 ⑲道場 ⑳片山 ㉑石神 ㉒野寺 ㉓栗原
	南西地域 ➡	㉔本多 ㉕西堀 ㉖新堀

Q11 このアンケートを受け取った時の交通手段や所要時間、経由地をお答えください。
(鉄道の乗り換え駅の記入は不要です。)

駅・バス停	交通手段	所要時間
出発地		約 分
↓		約 分
↓		約 分
↓		約 分
↓		約 分
↓		約 分
↓		約 分
目的地		約 分

【記入例】

出発地から自転車で練馬駅まで行き、
鉄道でひばりヶ丘駅まで行き、
バスに乗り継ぎ新座市役所まで行き、
そこから歩いて目的地まで行った場合

駅・バス停	交通手段	所要時間
出発地		約 8 分
↓	⑩	約 10 分
練馬駅	①	約 20 分
↓	②	約 2 分
⑨	⑪	約 分
⑫		約 分
↓		約 分
↓		約 分
↓		約 分
目的地		約 分

以下の選択肢から該当する番号をそれぞれ1つ選んでください

駅・バス停リスト

※リストにない場合は回答欄に直接記入してください

- | | | |
|---------|---------|-------|
| JR武蔵野線→ | ①新座駅 | ②北朝霞駅 |
| 東武東上線→ | ③志木駅 | ④朝霞台駅 |
| | ⑤柳瀬川駅 | |
| | ⑥朝霞駅 | |
| 西武池袋線→ | ⑦大泉学園駅 | ⑧保谷駅 |
| | ⑨ひばりヶ丘駅 | |
| | ⑩東久留米駅 | ⑪清瀬駅 |
| その他バス停→ | ⑫新座市役所 | |

交通手段リスト

- | | |
|--------------------|---------------|
| ①鉄道 | ②路線バス（にいバス以外） |
| ③にいバス | ④タクシー |
| ⑤会社・施設等の送迎車 | |
| ⑥自動車（自分で運転） | |
| ⑦自動車（他の人が運転） | ⑧原付・バイク |
| ⑨特定小型原付（電動キックボード等） | |
| ⑩自転車 | ⑪徒歩 |
| ⑫その他 | |

Q12 （鉄道を利用される方で出発地から駅までの移動にバスを利用しない方）バスを利用しない理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | | |
|---------------------|--------------------|-------------------|
| 1. バスを使うほどの距離ではないから | 2. 他の交通手段が便利だから | 3. 出発地からバス停まで遠いから |
| 4. 運行本数が少ないから | 5. 利用したい時間帯に便がないから | 6. 運賃が高いから |
| 7. 車内が混むから | 8. 快適に待てないから | 9. 時間が不正確だから |
| 10. ルートが分かりにくいから | 11. 乗り継ぎが不便だから | 12. その他 [] |

Q13 （鉄道を利用される方で駅から目的地までの移動にバスを利用しない方）バスを利用しない理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | | |
|---------------------|--------------------|-------------------|
| 1. バスを使うほどの距離ではないから | 2. 他の交通手段が便利だから | 3. 目的地からバス停まで遠いから |
| 4. 運行本数が少ないから | 5. 利用したい時間帯に便がないから | 6. 運賃が高いから |
| 7. 車内が混むから | 8. 快適に待てないから | 9. 時間が不正確だから |
| 10. ルートが分かりにくいから | 11. 乗り継ぎが不便だから | 12. その他 [] |

【3】 普段の鉄道利用についてお伺いします。

Q14 鉄道の利用頻度をお答えください（1つだけ○）

- | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|---------|---------|--------------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 | 4. 月に数日 | 5. 年に数日 | 6. ほとんど利用しない |
|-----------|-----------|-----------|---------|---------|--------------|

Q15 鉄道を利用するための条件として重要だと思うことをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 運行本数・運行間隔 2. 始発(初電)時刻 3. 終発(終電)時刻 4. 時刻表どおりの運行(定時性)
5. 目的地までの所要時間 6. 運賃・料金 7. 鉄道同士の乗り継ぎ 8. バスなど他の公共交通との乗り継ぎ
9. 車内環境・混雑 10. 案内情報(路線、時刻表など)の充実
11. いずれにしても鉄道を利用することはない 12. その他「 」

【4】 普段のバス利用について伺います。

Q16 バスを利用する場合、ご自宅からバス停まで、どの程度の距離ならば許容できますか。(1つだけ○)

1. 50m(徒歩で1分) 2. 100m(徒歩で1～2分) 3. 200m(徒歩で3～4分) 4. 300m(徒歩で5～6分)
5. 500m(徒歩で7～10分) 6. 1km(徒歩で15～20分) 7. 1km以上(徒歩で20分以上)

Q17 新座市内の路線バスの利用頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数回 5. 年に数回 6. ほとんど利用しない

Q18 新座市内の路線バスについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つだけ○)

※路線バスを利用しない方も分かる範囲でお答えください。

		満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
例	該当する番号を○で囲んでください 例➡	1	2	③	4	5
a	行き先・運行経路	1	2	3	4	5
b	運行本数・運行間隔	1	2	3	4	5
	「やや不満」、「不満」と回答された方	少なくとも [] 分間隔での運行を希望				
c	始発時刻・終発時刻	1	2	3	4	5
	「やや不満」、「不満」と回答された方	希望の始発：[時台] ／希望の終発：[時台]				
d	時刻表どおりの運行（定時性）	1	2	3	4	5
e	運賃	1	2	3	4	5
f	バス停の位置	1	2	3	4	5
g	鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ	1	2	3	4	5
	「やや不満」、「不満」と回答された方	不満と感じる駅・バス停：[]				
h	バス待ち環境	1	2	3	4	5
i	車内の混雑状況	1	2	3	4	5
j	バスの案内情報（路線、時刻表など）	1	2	3	4	5
k	リアルタイムの運行情報（バスロケーションシステムなど）	1	2	3	4	5
l	総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

Q19 にいバス（新座市のコミュニティバス）の利用頻度をお答えください。（1つだけ○）

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんど利用しない

【5】そのほか、新座市内の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

(3) にいバス乗降調査

1) 調査方法

■調査対象

- ・にいバスを利用する高校生以上の方（目視で判断）

■調査時期

- ・令和6年9月頃

■配布・回収方法

- ・調査員がにいバスに乗り込み配布、WEB 又はアンケート票の返送による回答
- ・調査に協力いただけない方も含めた全ての利用者の乗降バス停（OD）を調査員が記録

■配布資料

- ・アンケート回答用 WEB ページのリンク先を記載（二次元コード、URL）したカードを配布又は提示
- ・希望者には、案内文（A4 判 1 枚）、アンケート票（A4 判 3 枚程度）、返信用封筒（長 3）を配布

2) 調査項目

主な調査項目	目的
回答者の基本属性	回答者の属性について把握し、他の調査項目とのクロス集計に使用する。
アンケート配布時のにいバスの利用状況について	にいバスの利用目的や移動状況、乗り継ぎの有無を把握し、課題を抽出する。
普段のにいバス利用について	にいバスの利用実態や意向を把握し、課題を抽出する。
にいバスの再編について	にいバスの運行再編の効果や利用者の意向について把握する。
自由回答	公共交通全般に対する意見を把握する。

新座市 公共交通に関するアンケート 【にいバス利用者向け】

- ・ 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 答えたくない質問などがありましたら、質問を飛ばしていただいても構いません。

【1】ご回答いただく方についてお伺いします。

Q1 性別をお答えください。(1つだけ○)

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

Q2 年齢をお答えください。(1つだけ○)

1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳
7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上

Q3 職業をお答えください。(1つだけ○)

1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. 会社・団体などの役員
5. アルバイト・パートタイマー 6. 学生 7. 家事従事者
8. 無職 9. その他 []

Q4 家族構成をお答えください。(1つだけ○)

1. 単身世帯(ひとり暮らし) 2. 一世代世帯(夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ)
3. 二世帯世帯(親子など) 4. 三世帯世帯(親と子と孫など) 5. その他 []

Q5 居住地をお答えください。(1つだけ○)

- | | | | | | |
|-------|------------------------------|--------|--------------|-------------|------------------|
| 北東地域➡ | 1. 東北 | 2. 北野 | 3. 東 | 4. 野火止五～八丁目 | 5. 畑中三丁目 |
| 北西地域➡ | 6. 新座 | 7. 中野 | 8. 大和田 | | |
| 東部地域➡ | 9. 新塚 | 10. 栄 | 11. 池田 | | |
| 中央地域➡ | 12. 畑中一・二丁目 | 13. 馬場 | 14. 野火止一・二丁目 | | |
| 西部地域➡ | 15. 野火止三・四丁目 | 16. 菅沢 | 17. あたご | | |
| 南部地域➡ | 18. 堀ノ内 | 19. 道場 | 20. 片山 | 21. 石神 | 22. 野寺 23. 栗原 |
| 南西地域➡ | 24. 本多 | 25. 西堀 | 26. 新堀 | | |
| 市 外➡ | 27. 新座市外 ➡市区町村名を記入してください [] | | | | 市・区・町・村] |

Q6 ご家庭にあるご自身で運転できる車両をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 自分専用の自動車 2. 家族と共用の自動車 3. 原付・バイク
4. 特定小型原付(電動キックボード等) 5. 電動アシスト付き自転車 6. 自転車(電動アシストなし)
7. この中に自身で運転できる車両はない

Q7 自動車運転免許の保有状況をお答えください。(1つだけ○)

1. 免許を持っている 2. 免許を持っていたが返納した 3. 免許を持っていない

Q8 運転免許証の返納についてあなたの考えにあてはまるものをお答えください。(1つだけ○)

1. 5年以内に運転免許証を返納する予定である・返納しても良い
2. 将来的には返納しても良い
3. 現在のところ運転免許証を返納する予定はない

【2】本日（このアンケートを受け取った日）のにいバスの利用状況についてお伺いします。

Q9 このアンケートを受け取った日の移動の目的をお答えください。(1つだけ○)

1. 通勤	2. 通学	3. 業務	4. 買い物	5. 通院	6. 趣味・娯楽・食事・習い事
7. 公共施設の利用〔施設名：				〕	8. その他〔

Q10 このアンケートを受け取った日の移動の出発地と目的地をお答えください。

出 発 地	1. 自宅 2. 自宅以外(新座市内) ➡ ページ下部の 地域リスト の番号を記入してください [] ◀ 3. 自宅以外(新座市外) ➡ 市区町村名を記入してください [市・区・町・村]
出発時刻	[午前・午後 時台]
目 的 地	1. 自宅 2. 自宅以外(新座市内) ➡ ページ下部の 地域リスト の番号を記入してください [] ◀ 3. 自宅以外(新座市外) ➡ 市区町村名を記入してください [市・区・町・村]

(Q10 用) **地域リスト**

新 座 市 内	北東地域➡	①東北	②北野	③東	④野火止五～八丁目	⑤畑中三丁目
	北西地域➡	⑥新座	⑦中野	⑧大和田		
	東部地域➡	⑨新塚	⑩栄	⑪池田		
	中央地域➡	⑫畑中一・二丁目	⑬馬場	⑭野火止一・二丁目		
	西部地域➡	⑮野火止三・四丁目	⑯菅沢	⑰あたご		
	南部地域➡	⑱堀ノ内	⑲道場	⑳片山	㉑石神	㉒野寺
	南西地域➡	㉓本多	㉔西堀	㉕新堀		㉖栗原

Q11 このアンケートを受け取った日に乗車した路線名をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 志木コース 2. ひばりヶ丘コース 3. 東久留米コース 4. 清瀬コース

Q12 にいバスに乗車した時のことについてお答えください。(1つだけ○)

乗車したバス停名	[]
乗車前の乗り継ぎ	1. 鉄道から乗り継いだ 2. 他のバスから乗り継いだ 3. にいバスの他コースから乗り継いだ 4. その他の移動手段から乗り継いだ 5. 乗り継ぎなし(徒歩や自転車) ➡ 出発地からバス停までの所要時間: 約 [] 分
運賃の支払い	1. 無料乗車証の提示 2. 現金・交通系ICを使用 3. 障がい者手帳の提示

Q13 にいバスを降車した時のことについてお答えください。(1つだけ○)

降車したバス停名	[]
降車後の乗り継ぎ	1. 鉄道へ乗り継いだ 2. 他のバスへ乗り継いだ 3. にいバスの他コースに乗り継いだ 4. その他の移動手段に乗り継いだ 5. 乗り継ぎなし(徒歩や自転車) ➡バス停から目的地までの所要時間:約 [] 分

【3】 普段のにいバスの利用等について伺います。

Q14 にいバスの利用頻度をお答えください。(1つだけ○)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日

Q15 普段、にいバスを利用する曜日をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 月曜日 | 2. 火曜日 | 3. 水曜日 | 4. 木曜日 | 5. 金曜日 | 6. 土曜日 | 7. 日曜日 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

Q16 にいバスの往復利用についてお答えください。(1つだけ○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 行き帰りともに利用することが多い | 2. 行きのみ利用することが多い |
| 3. 帰りのみ利用することが多い | |

Q17 にいバスを利用する理由を教えてください（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. いバスしか移動手段がないから | 2. 運行経路や目的地までの移動が便利だから |
| 3. 目的地までの所要時間が短いから | 4. 利用しやすいダイヤだから |
| 5. 費用が安いから | 6. 目的地で駐車場が確保できないから |
| 7. 車の運転が不安だから | 8. その他 [] |

Q18 にいバスについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つだけ○)

		満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
例	該当する番号を○で囲んでください 例➡	1	2	3	4	5
a	行き先・運行経路	1	2	3	4	5
b	運行本数・運行間隔	1	2	3	4	5
c	始発時刻・終発時刻	1	2	3	4	5
d	時刻表どおりの運行（定時性）	1	2	3	4	5
e	運賃	1	2	3	4	5
f	バス停の位置	1	2	3	4	5
g	にいバス同士の乗り継ぎ	1	2	3	4	5
h	鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ	1	2	3	4	5
i	バス待ち環境	1	2	3	4	5
j	車内の混雑状況	1	2	3	4	5
k	バスの案内情報（路線、時刻表など）	1	2	3	4	5
l	リアルタイムの運行情報（バスケーションシステムなど）	1	2	3	4	5
m	総合的に見た満足度	1	2	3	4	5

Q19 いいバスは令和5年(2023年)4月に路線の見直しを行い、志木・ひばりヶ丘・東久留米・清瀬コースの4路線での運行体制となりました。この見直しはご存じでしたか。(1つだけ○)

1. 知っていた 2. 知らなかった → Q24 (2ページ先)へ

Q20 にいバスの見直しによって、にいバスの利用頻度は変わりましたか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 見直し後に利用するようになった | 2. 利用頻度が前より増えた |
| 3. 利用頻度は変わらない | 4. 利用頻度が前より減った |

Q21 にいバスの見直しによって、にいバスの利便性はどのようなになったと感じますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 非常に便利になった | } Q22 へ |
| 2. 便利になった | |
| 3. 変わらない | →Q24 (次のページ) へ |
| 4. 不便になった | } Q23 へ |
| 5. 非常に不便になった | |
| 6. 分からない | →Q24 (次のページ) へ |

Q22 にいバスの見直しによって、便利になったと感じる理由をお答えください(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 乗り継ぎなしで目的地まで行けるようになったから |
| 2. 目的地までの乗車時間が減ったから |
| 3. バス停が新設されたから |
| 4. 運行本数が増えたから |
| 5. 利用したい時間帯に運行するようになったから |
| 6. 無料乗車証の対象が拡大されたから |
| 7. 車内の混雑が緩和したから |
| 8. バスの遅れが減ったから |
| 9. 運行ルートが分かりやすくなったから |
| 10. にいバス同士の乗り継ぎがしやすくなったから |
| 11. その他 [] |

回答後 Q24 (次のページ) へ

Q23 にいバスの見直しによって、不便になったと感じる理由をお答えください(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 乗り継ぎをしないと目的地まで行けなくなったから |
| 2. 目的地までの乗車時間が増えたから |
| 3. バス停が廃止されたから |
| 4. 運行本数が減ったから |
| 5. 利用したい時間帯の運行がなくなったから |
| 6. 無料乗車の年齢が引き上げられたから |
| 7. 運賃が高くなったから |
| 8. 車内の混雑がひどくなったから |
| 9. バスの遅れが増えたから |
| 10. 運行ルートが分かりにくくなったから |
| 11. にいバス同士の乗り継ぎがしにくくなったから |
| 12. その他 [] |

【４】今後のにいバスに対する取り組みについてお伺いします。

（市民アンケートと同じ設問）

【５】そのほか、にいバスに対するご意見、ご要望があればお書きください。

--

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

(4) 福祉関係者アンケート

1) 調査方法

■調査対象

- ・新座市内の福祉関係の団体、事業者

■調査時期

- ・令和6年9～10月頃

■配布・回収方法

- ・郵送による配布、アンケート票の返送又はWEBによる回答

■配布資料

- ・案内文（A4判1枚）、アンケート票（A4判1～2枚程度）、返信用封筒（長3）

2) 調査項目

主な調査項目	目的
回答者の基本情報	回答者の業種や施設利用者の特性を把握する。
サービス利用者について	高齢者や障がい者のサービスの利用状況や普段の移動状況を把握し、課題を抽出する。
移動サービスについて	福祉有償運送などの利用状況を把握し、地域公共交通が担う役割の検討材料とする。また、一般の人の相乗りを受け入れの可能性や課題について把握する。
自由回答	公共交通全般に対する意見を把握する。

新座市 公共交通に関するアンケート 【福祉関係者様向け】

- 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。

【1】貴社・貴団体のことについてお伺いします。

Q1 所在地をお答えください。(1つだけ○)

北東地域➡	1. 東北	2. 北野	3. 東	4. 野火止五～八丁目	5. 畑中三丁目
北西地域➡	6. 新座	7. 中野	8. 大和田	東部地域➡	9. 新塚
				10. 栄	11. 池田
中央地域➡	12. 畑中一・二丁目	13. 馬場	14. 野火止一・二丁目		
西部地域➡	15. 野火止三・四丁目	16. 菅沢	17. あたご		
南部地域➡	18. 堀ノ内	19. 道場	20. 片山	21. 石神	22. 野寺
				23. 栗原	
南西地域➡	24. 本多	25. 西堀	26. 新堀		

Q2 従業者数（事業所が複数ある場合、本アンケート送付先の事業所の従業者数）をお答えください。

約 [] 人

Q3 提供されている福祉サービス内容についてお答えください。(あてはまるもの全てに○)

[illegible]

Q4 主なサービス利用者をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 高齢者 2. 要介護・要支援認定者 3. 障がい者 4. その他 []

Q5 福祉サービスを提供している曜日・時間についてお答えください。(あてはまるもの全てに○)

曜日	1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日 6. 土曜日 7. 日曜日 8. 曜日の定めがない [具体的に
時間	[午前・午後 時 分] から [午前・午後 時 分] まで

【2】サービス利用者のことについてお伺いします。

06 (通所型のサービスを提供されている場合) 利用者の主な通所手段とその割合をお答えください。
(あてはまるもの全てに○)

選 択 肢	割 合	選 択 肢	割 合
1. 貴社・貴団体の送迎車	約 割	8. タクシー	約 割
2. 上記以外の送迎車・福祉有償運送	約 割	9. 原付・バイク	約 割
3. 自動車（自分で運転）	約 割	10. 特定小型原付（電動キックボード等）	約 割
4. 自動車（家族・知人等が運転）	約 割	11. 自転車	約 割
5. 鉄道	約 割	12. 徒歩（電動車いすを除く）	約 割
6. 路線バス（にいいバス以外）	約 割	13. 電動車いす	約 割
7. にいいバス	約 割	14. その他	約 割

※通所手段ごとの人数の割合はおおよその数で構いません。

Q7 サービス利用者の日常の移動状況についてお答えください。(1つだけ○)

1. 移動に困っている・不便を感じている人がいる → 困っている・不便を感じている人の割合: 約 [] 割

2. 移動に困っている・不便を感じている人はいない

Q8 サービス利用者の日常の移動状況について、何かご意見等がありましたらご記入ください。

--

【3】移送・送迎サービスについてお伺いします。

Q9 提供されている移送・送迎サービスをお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|-------------|-----------|----------------------------------|
| 1. 施設利用者の送迎 | 2. 福祉有償運送 | 3. 介護タクシー(一般乗用自動車運送事業(福祉輸送事業限定)) |
| 4. その他 [] | | |

Q10 移送・送迎サービスに使用されている車両数と車両の定員をお答えください。

使用車両数：約 [] 台 / 定員(運転手を含む)：[] 人

Q11 利用者1人あたりの月平均利用回数をお答えください。

1人あたり1か月約 [] 回

Q12 移送・送迎サービスを利用される方が他の移動手段を利用できるかについてお答えください。

自動車の運転ができる(と思われる)方の割合：約 [] 割
鉄道やバスを一人で利用できる(と思われる)方の割合：約 [] 割
提供されている移送・送迎サービス以外の移動手段がない(と思われる)方の割合：約 [] 割

Q13 (施設利用者の送迎をされている場合)施設利用者以外の方が送迎車に同乗する(施設利用者と一緒を送迎をしてもらう)ことは可能でしょうか。(1つだけ○)

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1. 同乗は困難 | 2. 同乗は可能 | 3. すでに実施している |
|----------|----------|--------------|

Q14 同乗は困難とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 施設利用者の安全が確保できない | 2. 同乗する人の安全が確保できない | 3. 内規で認められていない |
| 4. 車両に空きがない | 5. 運行に遅れが出る | 6. 同乗する人とのトラブルが想定される |
| 7. 法令上の問題が気になる | 8. メリットが特にならない | |
| 9. その他 [] | | |

Q15 上記の問題が解消された場合、同乗について検討することはありますか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いずれにしても同乗はできない | 2. 同乗を検討することはできる |
|-------------------|------------------|

【4】そのほか、新座市内の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。

--

◆差し支えなければ、ご回答者様のご連絡先についてご記入ください。

貴法人・団体名		
貴部署・役職名		
お名前		
ご連絡先	電話	
	Email	

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

(5) 集客施設アンケート

1) 調査方法

■調査対象

- ・新座市内の医療機関や商業施設など多くの人が来訪する施設

■調査時期

- ・令和6年9～10月頃

■配布・回収方法

- ・郵送による配布、アンケート票の返送又はWEBによる回答

■配布資料

- ・案内文（A4判1枚）、アンケート票（A4判1～2枚程度）、返信用封筒（長3）

2) 調査項目

主な調査項目	目的
回答者の基本情報	回答者の業種や施設利用者の特性を把握する。
施設利用者等の移動状況について	施設利用者や従業員の来訪手段や移動ニーズを把握し、課題を抽出する。
公共交通への要望について	公共交通サービス（主にバス）に対する要望や改善すべき事項を把握する。
一般の方の相乗りの可能性について	一般の方の相乗りについて、受入れの可能性や課題を把握する。
自由回答	公共交通全般に対する意見を把握する。

新座市 公共交通に関するアンケート 【来訪者の多い施設様向け】

- ・ 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。

【1】貴社・貴団体のことについてお伺いします。

Q1 主な事業内容をお答えください。(1つだけ○)

1. 医療・福祉 2. 小売業 3. その他

Q2 所在地をお答えください。(1つだけ○)

北東地域➡ 1. 東北 2. 北野 3. 東 4. 野火止五～八丁目 5. 畑中三丁目
北西地域➡ 6. 新座 7. 中野 8. 大和田 東部地域➡ 9. 新塚 10. 栄 11. 池田
中央地域➡ 12. 畑中一・二丁目 13. 馬場 14. 野火止一・二丁目
西部地域➡ 15. 野火止三・四丁目 16. 菅沢 17. あたご
南部地域➡ 18. 堀ノ内 19. 道場 20. 片山 21. 石神 22. 野寺 23. 栗原
南西地域➡ 24. 本多 25. 西堀 26. 新堀

【2】施設利用者のことについてお伺いします。

Q3 施設利用者の主な来訪手段が分かりましたらお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 路線バス（にいバス以外） 2. にいバス 3. タクシー 4. 施設の送迎車 5. 自動車
6. 自動車（他の人の送迎） 7. バイク・原付 8. 特定小型原付（電動キックボード等） 9. 自転車 10. 徒歩
11. その他「 」

Q4 上記のうち、最も多い来訪手段をお答えください。

Q3 の番号の中から記入してください。 ➡ []

Q5 施設利用者用の駐車場の整備状況をお答えください。(1つだけ○)

駐車場の有無	1. 施設専用の駐車場がある 2. 共用の駐車場がある 3. 駐車場はない
駐車可能台数	約 [] 台
駐車スペースの不足	1. 不足していない 2. やや不足していると感じる 3. 不足していると感じる

Q6 施設利用者用の駐輪場(自転車・バイク用駐車場)の整備状況をお答えください。(1つだけ○)

駐輪場の有無	1. 施設専用の駐車場がある	2. 共用の駐輪場がある	3. 駐輪場はない
駐輪可能台数	約 [] 台		
駐輪スペースの不足	1. 不足していない	2. やや不足していると感じる	3. 不足していると感じる

Q7 施設利用者の来訪手段や来訪状況について、問題点はありませんか。

1. 特に問題点はない 2. 問題がある →下に具体的にお書きください。

Q8 路線バスについて改善を希望する内容があればお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 特になし 2. 行き先・運行経路 3. 運行本数・運行間隔 4. 始発時刻 5. 終発時刻
6. 時刻表どおりの運行(定時性) 7. 運賃 8. バス停の設置場所 9. 鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ
10. バス待ち環境 11. 車内環境 12. バスの案内情報(路線、時刻表など)
13. リアルタイムの運行情報(バスカーションシステムなど) 14. その他「 」

Q9 施設利用者や従業員のため、送迎車両を運行していますか。(1つだけ○)

1. 送迎車両を運行している → 【3】へ 2. 送迎車両を運行していない → 【4】へ

【3】運行されている送迎車両についてお伺いします。

Q10 運行形態についてお答えください。（1つだけ○）

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 車両を所有し運転手も雇用している | 2. 車両を所有し運転手は委託または派遣してもらっている |
| 3. 全て委託している（貸切バス） | |

Q11 送迎車両を運行している曜日についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | | | | | | |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 月曜日 | 2. 火曜日 | 3. 水曜日 | 4. 木曜日 | 5. 金曜日 | 6. 土曜日 | 7. 日曜日 |
| 8. 曜日の定めがない [具体的に _____] | | | | | | |

Q12 送迎車両の台数と車両定員、1日あたりの利用者数をお答えください。

使用車両数：約 [_____] 台	／	車両定員：約 [_____] 人	／	利用者数：約 [_____] 人
---------------------	---	--------------------	---	--------------------

Q13 送迎車両の運行を行う理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 施設利用者の利便性向上のため | 2. 施設周辺に路線バスの運行がないため |
| 3. 路線バスの運行時間が従業者や施設利用者の来訪時間に合わないため | |
| 4. 路線バスの輸送量では対応できないため | 5. 路線バスでは時間がかかるため |
| 6. 自動車での来訪を抑制するため | 7. 自転車での来訪を抑制するため |
| 8. 企業イメージ向上のため | |
| 9. その他 [_____] | |

Q14 送迎車両の運行に当たって問題点があればお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|------------------|-----------|------------------|-----------|
| 1. 特に問題点はない | 2. 運転手の不足 | 3. 運行にかかる経費の増加 | 4. 利用者の増加 |
| 5. 利用者の減少 | 6. 車両の老朽化 | 7. 道路の混雑による運行の遅れ | |
| 8. その他 [_____] | | | |

【4】運行されている送迎車両の同乗についてお伺いします。

Q15 従業者・施設利用者以外の方が送迎車両に同乗する（一緒に送迎をしてもらう）ことは可能でしょうか。（1つだけ○）

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1. 同乗は困難 | 2. 同乗は可能 | 3. すでに実施している |
|----------|----------|--------------|

Q16 同乗は困難とされた理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | | |
|---------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 現在の利用者の安全が確保できない | 2. 同乗する人の安全が確保できない | 3. 内規で認められていない |
| 4. 車両に空きがない | 5. 運行に遅れが出る | 6. 同乗する人とのトラブルが想定される |
| 7. 法令上の問題が気になる | 8. メリットが特にならない | |
| 9. その他 [_____] | | |

Q17 上記の問題が解消された場合、同乗について検討することはありますか。（1つだけ○）

- | | | |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. いずれにしても同乗はできない | 2. 同乗を検討することはできる | 3. 分からない |
|-------------------|------------------|----------|

【5】そのほか、新座市内の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。

--

◆差し支えなければ、ご回答者様のご連絡先についてご記入ください。

貴法人・団体名			
貴部署・役職名		お名前	
ご連絡先	電話：	Email：	

(6) 法人・団体アンケート

1) 調査方法

■調査対象

- ・従業員の送迎車両を運行している新座市内の法人・団体

■調査時期

- ・令和6年9～10月頃

■配布・回収方法

- ・郵送による配布、アンケート票の返送又はWEBによる回答

■配布資料

- ・案内文（A4判1枚）、アンケート票（A4判1～2枚程度）、返信用封筒（長3）

2) 調査項目

主な調査項目	目的
回答者の基本情報	回答者の業種や従業員数等を把握する。
送迎車両の運行について	送迎車両を運行する理由や運行状況、送迎を利用しない人の移動状況を把握する。
一般の方の相乗りの可能性について	一般の方の相乗りについて、受入れの可能性や課題を把握する。
公共交通への要望について	公共交通サービス（主にバス）に対する要望や改善すべき事項を把握する。
自由回答	公共交通全般に対する意見を把握する。

新座市 公共交通に関するアンケート 【送迎車両を運行する企業様向け】

- 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。

【1】貴社のことについてお伺いします。

Q1 貴社の主な事業内容をお答えください。（1つだけ○）

- | | | | | |
|----------------------|-------------------|---------------|-------------|------------------|
| 1. 農・林・漁業 | 2. 鉱業, 採石業, 砂利採取業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 | 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 6. 情報通信業 | 7. 運輸業, 郵便業 | 8. 卸売業, 小売業 | 9. 金融業, 保険業 | 10. 不動産業・物品賃貸業 |
| 11. 学術研究, 専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業, 飲食サービス業 | 13. 生活関連サービス業 | | |
| 14. 教育, 学習支援業 | 15. 医療, 福祉 | 16. その他 [] | | |

Q2 貴事業所の所在地をお答えください。（1つだけ○）

- | | | | | | |
|--------|--------------|----------|--------------|-------------|-----------|
| 北東地域 ➡ | 1. 東北 | 2. 北野 | 3. 東 | 4. 野火止五～八丁目 | 5. 畑中三丁目 |
| 北西地域 ➡ | 6. 新座 | 7. 中野 | 8. 大和田 | 東部地域 ➡ | 9. 新塚 |
| 中央地域 ➡ | 12. 畑中一・二丁目 | 13. 馬場 | 14. 野火止一・二丁目 | 10. 栄 | 11. 池田 |
| 西部地域 ➡ | 15. 野火止三・四丁目 | 16. 菅沢 | 17. あたご | 南西地域 ➡ | 24. 本多 |
| 南部地域 ➡ | 18. 堀ノ内 | 19. 道場 | 20. 片山 | 21. 石神 | 22. 野寺 |
| 新座市外 ➡ | 27. 朝霞市 | 28. 志木市 | 29. 所沢市 | 30. 三芳町 | 31. 練馬区 |
| | 33. 清瀬市 | 34. 西東京市 | 35. その他 [] | | 32. 東久留米市 |
| | | | | | 市・区] |

Q3 従業者数（事業所が複数ある場合、本アンケート送付先の事業所の従業者数）をお答えください。

約 [] 人

【2】貴社で運行されている送迎車両についてお伺いします。

Q4 運行形態についてお答えください。（1つだけ○）

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 車両を所有し運転手も雇用している | 2. 車両を所有し運転手は委託又は派遣してもらっている |
| 3. 全て委託している（貸切バス） | |

Q5 送迎車両を運行している曜日についてお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | | | | | | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 月曜日 | 2. 火曜日 | 3. 水曜日 | 4. 木曜日 | 5. 金曜日 | 6. 土曜日 | 7. 日曜日 |
| 8. 曜日の定めがない [具体的に |] | | | | | |

Q6 送迎車両の台数と車両定員、1日あたりの利用者数をお答えください。

使用車両数：約 [] 台 / 車両定員：約 [] 人 / 利用者数：約 [] 人

Q7 送迎車両を利用される方をお答えください。（1つだけ○）

- | | | | |
|--------|----------|--------------|-------------------|
| 1. 従業者 | 2. 施設利用者 | 3. 従業者と施設利用者 | 4. 現在送迎車両を運行していない |
|--------|----------|--------------|-------------------|

Q8 【従業者が利用している場合】従業者の送迎を行う理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 従業者の通勤の負担軽減のため | 2. 事業所周辺に路線バスの運行がないため |
| 3. 路線バスの運行時間が通勤時間に合わないため | 4. 路線バスの輸送量では対応できないため |
| 5. 路線バスでは時間がかかるため | 6. 通勤手当（バス運賃）を抑制するため |
| 7. 自動車通勤を抑制するため | 8. 自転車通勤を抑制するため |
| 9. 企業イメージ向上のため | 10. その他 [] |

Q9 【施設利用者が利用している場合】施設利用者の送迎を行う理由をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 施設利用者の利便性向上のため | 2. 施設周辺に路線バスの運行がないため |
| 3. 路線バスの運行時間が施設利用者の来訪時間に合わないため | 4. 路線バスの輸送量では対応できないため |
| 5. 路線バスでは時間がかかるため | 6. 自動車での来訪を抑制するため |
| 7. 自転車での来訪を抑制するため | 8. 企業イメージ向上のため |
| 9. その他 [] | |

Q10 送迎車両の運行に当たって問題点があればお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|-------------|-----------|------------------|-----------|
| 1. 特に問題点はない | 2. 運転手の不足 | 3. 運行にかかる経費の増加 | 4. 利用者の増加 |
| 5. 利用者の減少 | 6. 車両の老朽化 | 7. 道路の混雑による運行の遅れ | |
| 8. その他 [| | |] |

【3】貴社で運行されている送迎車両の同乗についてお伺いします。

Q11 従業者・施設利用者以外の方が送迎車両に同乗する（一緒に送迎をしてもらう）ことは可能でしょうか。（1つだけ○）

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1. 同乗は困難 | 2. 同乗は可能 | 3. すでに実施している |
|----------|----------|--------------|

Q12 同乗は困難とされた理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|---------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 現在の利用者の安全が確保できない | 2. 同乗する人の安全が確保できない | 3. 内規で認められていない |
| 4. 車両に空きがない | 5. 運行に遅れが出る | 6. 同乗する人とのトラブルが想定される |
| 7. 法令上の問題が気になる | 8. メリットが特にならない | |
| 9. その他 [| |] |

Q13 上記の問題が解消された場合、同乗について検討することはありますか。（1つだけ○）

- | | | |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. いずれにしても同乗はできない | 2. 同乗を検討することはできる | 3. 分からない |
|-------------------|------------------|----------|

【4】路線バス（コミュニティバスを含む）に対する希望についてお伺いします。

Q14 路線バスについて改善を希望する内容があればお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | | |
|--------------------------------|-------------|-----------------------|--------------------|---------|
| 1. 特にない | 2. 行き先・運行経路 | 3. 運行本数・運行間隔 | 4. 始発時刻 | 5. 終発時刻 |
| 6. 時刻表どおりの運行(定時性) | 7. 運賃 | 8. バス停の設置場所 | 9. 鉄道や他の路線バスとの乗り継ぎ | |
| 10. バス待ち環境 | 11. 車内環境 | 12. バスの案内情報（路線、時刻表など） | | |
| 13. リアルタイムの運行情報（バスカーションシステムなど） | 14. その他 [| | |] |

Q15 上記の内容が改善された場合、送迎車両から公共交通への転換の可能性はありますか。（1つだけ○）

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 転換する可能性がある | 2. 転換する可能性はない | 3. 分からない |
|---------------|---------------|----------|

【5】そのほか、新座市内の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。

--

◆差し支えなければ、ご回答者様のご連絡先についてご記入ください。

貴法人・団体名		
貴部署・役職名		
お名前		
ご連絡先	電話	
	Email	

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

(7) 来街者アンケート

1) 調査方法

■調査対象

- ・新座市を訪れた市外在住者

■調査時期

- ・令和6年9～10月頃

■配布・回収方法

- ・調査カードやポスター等を主要施設に設置又はWEB上での依頼、WEBによる回答

■配布資料

- ・アンケート回答用WEBページのリンク先を記載（二次元コード、URL）したカード

2) 調査項目

主な調査項目	目的
回答者の基本属性	回答者の属性について把握し、他の調査項目とのクロス集計に使用する。
新座市訪問時の移動状況について	新座市を訪れた方の移動状況やバスの利用意向について把握する。

新座市 公共交通に関する来街者アンケート

- 回答欄の該当する番号に○印をつけるか、[]内に具体的な内容をご記入ください。

ご回答いただく方について伺います。

Q1	性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
Q2	年齢	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上
Q3	職業	1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. 会社・団体などの役員 5. アルバイト・パートタイマー 6. 学生 7. 家事従事者 8. 無職 9. その他 []
Q4	居住地	郵便番号⇒ - 郵便番号が分からない場合⇒ [] 都・道・府・県 市・区・町・村

新座市を訪れた時のことについて伺います。

Q5 新座市を訪れた目的（一つだけ○）

1. 通勤	2. 通学	3. 業務	4. 買い物	5. 通院	6. 観光	7. 観光以外の趣味・娯楽・食事・習い事
8. その他 [		]				

Q6 新座市を訪れる頻度（一つだけ○）

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に数日 5. 年に数日 6. ほとんどない

Q7 行き先（自由記述）

[町名または施設名：]

Q8 新座市内の目的地までの移動手段（あてはまるもの全てに○）

1. 鉄道〔降車駅： 駅〕 2. 路線バス（にいバス以外） 3. にいバス 4. タクシー
5. 会社・施設等の送迎車 6. 自動車（自分で運転） 7. 自動車（他の人が運転） 8. バイク・原付
9. 特定小型原付（電動キックボード等） 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他〔 〕

Q9 (バスを利用した方) 乗車したバスについてどのように感じましたか。(それぞれ一つだけ○)

駅前やバス停でのバスの案内情報	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 分からない
運行本数（運行間隔）、運行ダイヤ	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 分からない
時刻表通りの運行（定時性）	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 分からない
鉄道や他のバスへの乗り継ぎ	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 分からない
運賃	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 分からない
車内の混雑状況	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. 分からない

Q10 (バスを利用しなかった方) バスを利用しなかった理由 (最大三つまで○)

1. バスを使うほどの距離ではないから 2. 他の交通手段が便利だから 3. 目的地からバス停まで遠いから
4. 運行本数が少ないから 5. 利用したい時間帯に便がないから 6. 運賃が高いから
7. 車内が混むから 8. 快適に待てないから 9. 時間が不正確だから 10. ルートが分かりにくいから
11. 乗り継ぎが不便だから 12. その他 []

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。